

広報



かわにし

平成 5 年 9/10 No.421

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
FAX 0257-68-3828)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 9月1日現在 —	
男	4,333(+5)
女	4,408(0)
計	8,741(+5)
世帯数	2,223(+1)
() は前月比較	



児玉画伯の遺作展を開催

去年9月27日、名誉町民であられた児玉輝彦画伯が94歳の天寿を全うされてから、間もなく1年を迎えようとしています。町では8月25日・26日の2日間、総合センターで画伯の作品やスケッチ、筆・絵の具などの遺品を展示して、故人の偉業をしのびました。

町にご寄贈いただいた六曲屏風7双、帝展入選画「祇王」の大軸、生前に公式に発表された最後の作品「鷹司関白」の額など、およそ60点が展示され、2日間でおおよそ500人が訪れました。



休日救急医

9月12日	大坪医院(四日町)	☎ 57-6100
15日	至誠堂医院(西浦町)	☎ 52-3276
19日	中条病院(中条)	☎ 57-3018
23日	大熊内科医院(山本町)	☎ 52-7066
26日	山口医院(下条)	☎ 55-2003
10月3日	大島医院(川原町)	☎ 52-2957
10日	第二藤巻医院(上野)	☎ 68-2018
11日	山口医院(袋町)	☎ 52-2174

議長に 小林寅雄氏

副議長には 南雲 教氏を選出

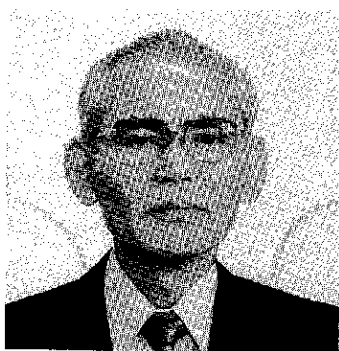
議会 報告

議会定数を二人減少して十八人とした初めての町議会の臨時会が、九月一日、一日間の会期で開かれました。
この議会は、今後四年間の任期における人事が中心になり、議長に小林寅雄氏、副議長に南雲教氏が選ばれたのをはじめ、広域事務組合議会議員などが決められました。
*定例会 条例で、毎年4回と定められています。
*臨時会 必要がある場合において、特定の事件に限って招集されます。

臨時会 9/1

この日は、任期最初の議会でしたので、日程に入る前に、町長のあいさつ、臨時議長紹介、議員の自己紹介、職員紹介、仮議席の指定が行われました。
日程に移って、年長議員の高橋重氏が臨時議長を務め、議長選挙に入りました。

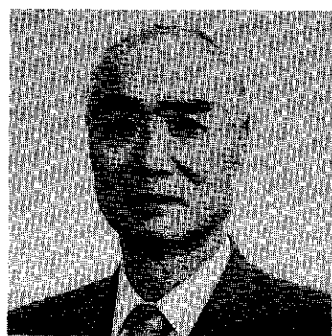
議長選挙の開票結果 小林寅雄 十八票



小林 議長

ここからは、小林寅雄氏が議長に着き、議事が進められました。

副議長選挙の開票結果 南雲 教 十八票



南雲 副議長

正・副議長選挙の後、正式の議席が指定され、会期の決定、常任委員の選任が行われました。
常任委員は次のとおりです。
正・副委員長については、各委員会です。

副議長選挙 開票の様子



常任委員会 (委員長・副委員長)

☆総務文教委員会



戸田総文委員長

◎戸田 哲次 ○押木 貢
南雲 教 清水 進
星名 富一 吉楽 正実

☆建設住民委員会



富井建住委員長

◎富井相四郎 ○北村 公男
柳 藤作 田口 直人
羽鳥 力夫 金子 澄男

☆農村環境委員会



根津農環委員長

◎根津健治郎 ○高橋 幸一
高橋 重 上村 晴夫
村越 勝蔵

次に、議会運営委員の選任が行われました。次のとおりです。

議会運営委員会

(委員長○副委員長)



柳 議運委員長

◎柳 藤作 ○高橋 重
南雲 教 戸田 哲次
根津健治郎 富井相四郎

さらに、次の議会人事が決められました。

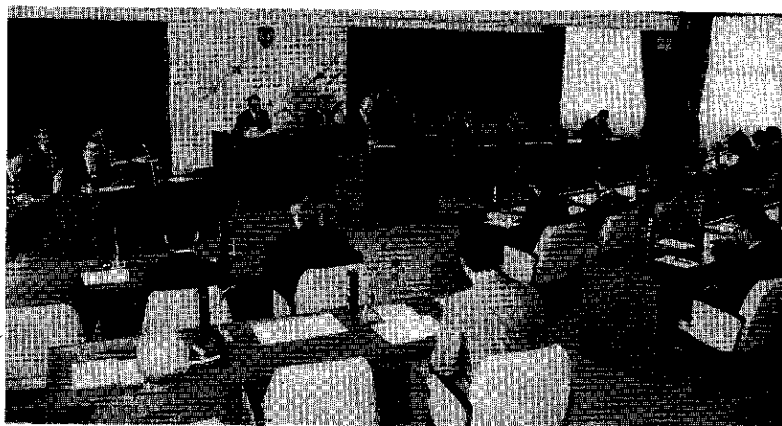
◆十日町地域広域事務組合議会議員

小林 寅雄 出口 直人
金子 澄男 上村 晴夫

◆十日町市・川西町衛生施設組合議会議員

小林 寅雄 根津健治郎
高橋 幸一

初議会のようなす



教育委員会委員に

宮 啓一氏を再任

教育委員会委員の宮啓一氏(山野田・64)の任期が九月十五日に満了します。

このため、同人を再び任命したいとし、町長から提案があり、議会ではこれに同意しました。任期は四年です。

◎常任委員会の所管

- (1) 総務文教常任委員会
総務課の所管に関する事務
税務課の所管に関する事務
開発課の所管に関する事務
会計課の所管に関する事務
議会事務局の所管に関する事務
選挙管理委員会の所管に関する事務
監査委員の所管に関する事務
教育委員会の所管に関する事務
他の常任委員会の所管に属さない事務
- (2) 農林環境常任委員会
農林課の所管に関する事務
環境整備課の所管に関する事務
企業室の所管に関する事務
農業委員会の所管に関する事務
建設住民常任委員会
建設課の所管に関する事務
住民課の所管に関する事務
診療所の所管に関する事務

清水 進氏を

監査委員に選任

監査委員に議会議員のうちから選任されていた柄沢悌二氏の任期が八月三十一日に満了しました。

後任には清水進氏(朝日町)が議会の同意を得て選任されることになりました。任期は議員の任期といっしょです。

臨時会 8/23

▼五年度一般会計

補正予算(専決
第一号)

衆議院議員総選挙に要する経費を

更正する必要が生じましたが、議会を開く暇がなかったため七月一日付で専決処分となったものです。補正の額はありません。

▼五年度水道事業会計補正予算(専決第二号)

上水道第三期拡張事業の浄水処理施設建設工事について、追加する必要が生じましたが、議会を開く暇がなかったため八月十三日付で専決処分となったものです。金額は五千九百七十六万一千円です。

▼五年度一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出にそれぞれ二百八十四万八千円を追加し、予算総額を四十七億五千二百八十六万六千円としました。

歳入では、繰越金だけの増額となっています。

歳出では、川西中学校の体育館棟耐力度調査委託料だけです。

▼五年度簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出にそれぞれ一千二百三十五万円を追加し、予算総額を三千三百四十五万円としました。

歳入では、諸収入だけの増額となっています。

歳出では、国道四〇三号(室島地内)改良に伴う室島簡易水道の水道管布設替工事費です。

▼上水道第三期拡張(浄水処理施設建設)工事の諸負契約変更

平成四年十二月二十二日契約(契約の相手方〓北栄建設(株)長岡支店・契約金額〓四億八千三百九十九万七千円)に係るもので、五千九百九十六万三千五百十円が増額されました。

以上の案件が、それぞれ可決承認されました。



議員任期中の最終のものとなったサヨナラ議会

村越勝蔵 49歳新



一野口
二 会社役員
三 —
四 道路交
通網の整

備、生活環境の整備はもとより、ますます進む過疎からの脱却を図るには人口増対策以外にない。通勤の利便性や土地価格の安さを強調して、十日町市のベッドタウンとしての宅地造成、住宅問題に全力でぶつかり、豊かな町づくりに向けて努力したい。

吉 楽 正 実 50歳新



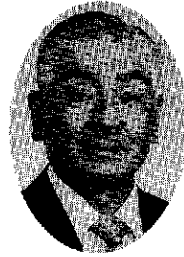
一 高原田
二 会社役員
三 —
四 ①活力
ある町づ

くりを進めるため、若者と会話の機会をつくり、意見を反映させていきたい。
②移住促進による過疎対策事業

の推進

③環境保全対策の充実
④交通基盤整備と就労の場の拡大を図りたい。

上 村 晴 夫 60歳新



一 上野
二 農業
三 —
四 ①農業
生産を多

部門に高めて、生産組織の更なる充実を図りたい。②後継者が安心して定着できる環境づくりに努め、考え方などについての理解を深めていきたい。③克雪対策の強化に努めたい。④町の良さや名勝などを生かして、町の活性化を見いだしたい。

星 名 富 一 60歳新



一 沖立
二 農業
三 —
四 人間関
係に隔た

抱負を語る

りのない社会に気配りし、行政

と町民が一体となった町政を重視してまいりたい。

このことを踏まえて、生活の環境整備を第一に考え、全力を尽くして町づくりに取り組むたい。

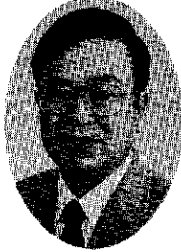
押 木 貢 50歳現



一元町
二 農業
三 一回
四 基礎固
めをして

きた二年間を土台にして、町政の原点である住民の願いとそのニーズは何かを正しく理解し、その目的に向かって一つひとつ町民の方々と共に歩いてまいりたい。町づくりは他人がするのではなく、自らが行うのであることを常に自覚していきたい。

金 子 澄 男 56歳現



一 岩瀬
二 農業
三 一回
四 明るい、
緑豊かな、

住み良い町づくりに努力し、住民と行政のパイプ役としての使

命をたえず心掛けたい。

また、だからも気軽に声をかけられる議員でありたい。

高 橋 幸 一 48歳現



一 赤谷
二 農業
三 一回
四 魅力あ
る町づく

りを基本として、わが町の持っている資源を最大限に活用し、中山間といわれる川西町の活性化に全力を傾注していきたい。

北 村 公 男 48歳現



一 山野田
二 農業
三 一回
四 町の人
口の減少

を食い止めることを基本として考えていきたい。さらに、①県道の拡幅と直線化②除排雪体制の強化に伴う流雪溝整備と裏道

などの改良③快適空間のある宅

地造成④少子化に向けての対策などについても努力していきたい。

羽 鳥 力 夫 57歳現



一 伊友
二 農業
三 一回
四 町に住
む若者が

納得する町の実現に努め、商工会は同青年部の意見や問題点をまとめる。農協は今後の営農指導のあり方を整理する。教育委員会は若者の悩みや心配ごとの相談を最重点に取り組む。その結果が、行政と議会は何をするべきか提起されるはずだ。

富 井 相 四 郎 68歳現



一 上野
二 農業
三 一回
四 ①町の
活性化を

図り、地域の人たちとの話し合いの場を一層進める。
②千手・上野地区都市計画の推進。特に、上野の国道と県道交差点の改良事業の早期完成
③徹底した利水を図る。特にほ

場パイプかんがい事業の促進と
実証

高橋 重 70歳 現



一坪山
二農業
三一回
四①町お
こしのた

めの第一条件である、養豚悪臭
の除去対策を推進する。②グリ
ーンツーリズムを推進する。③
ふれあいの里づくりの基本構想
として、特産物の開発とレジャ
ーを結んだ公的施設の開設など。
新しい気風で町はよみがえる。
実行に向けて努力したい。

清水 進 45歳 現



一朝日町
二会社役員
三二回
四町民と
行政のパ

イブ役に徹することに努め、町
民の生活環境の向上や、赤ちゃ
んから九十を超えた方と交わし
た握手を通じて伝わった手の温
かさを忘れず、老若男女を問わ
ぬ、優しくぬくもりのある町政
の実現に向けて努力していきた
い。

出口 直人 47歳 現



一木落
二農業
三二回
四常に住
民側に立

っての議会活動を目指し、健康
的で、生き生きとした町を創る
ために提言していきたい。

- ①人づくり
- ②福祉づくり
- ③スポーツづくり
- ④仕事づくり
- ⑤農村基盤づくり

根津 健治郎 60歳 現



一原田
二農業
三二回
四町民と
の対話に

より、その声を町政に反映させ、
①時代の要請にこたえる人づく
り②福祉の充実③農業・地場産
業・誘致企業の振興と交通網の
整備④若い人の職場の確保⑤生
活環境の整備⑥克雪対策の強化
⑦地域開発など、町づくりに向
けて努力していきたい。

柳 藤作 68歳 現



一学校町
二農業
三二回
四①若い
年齢層の

定住化対策として、町営マンシ
ョンの建設促進②住宅密集地の
流雪溝完備③年間利用のスキー
場を備えた西山の開発の推進④
ゴミ対策を合理化し、霧谷処分
場の有効利用と環境整備⑤文化
会館（美術館併用）の建設促進
に努めてまいりたい。

戸田 哲次 61歳 現



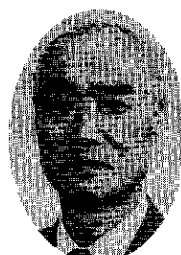
一仁田
二理容業
三三回
四教育・
福祉・環

境整備の推進を柱に、町の発展
に努めたい。①近隣市町と共同
の温水プールやファミリースキ
ー場の建設②福祉対策の更なる
充実強化③下水道の推進と養豚

新町議会議員18人

公害の早期解決④人口増対策と
して町営住宅の建設。これらの
実現に向けて努力していきたい。

南 雲 教 65歳 現



一中仙田
二農業
三一回
四増加す
る余暇利

用のために、町独自の楽しめる
施設を作り、都会からの集客を
図らなければならない。そのた
めには、山村留学をベースに、
拠点となる施設づくりや施設を
点から線で結び、商店街・道路
網の整備をはじめ、春夏秋冬楽
しめる活気ある町づくりをして
いきたい。

小林 寅雄 69歳 現



一中屋敷
二農業
三三回
四①若者
に魅力あ

る町づくり（文化施設・スポー

ツレジャー型ファミリー施設ゾ
ーンの建設②老人福祉対策の
充実（生き生きと活動できる環
境づくり、生きがい対策の促進）
③下水道・克雪・悪臭・都市計
画対策の促進④住民が行政に参
加できる機会づくりの推進。

川西町は豊かな自然に恵まれ、
日本一うまい米がとれる町。温
かい人情にあふれ、住みやすい
町として多くの魅力をたたえて
いる。一方、山間地での住みにく
さの進行、厳しい環境の中にあ
る産業、人手不足、畜産公害な
どの問題が住民の生活に影響を
おと
しています。

また、高齢化、国際化、情報
化などによる激しい社会情勢の
変化に対応し、人々の多様化・
複雑化する要望を積極的に取り
組む姿勢も求められています。

このような状況の中で、皆さ
んが選んだ代表が今後四年間、
町づくりなどについてどのような
な考えをお持ちなのか、簡単に
ご紹介してみます。

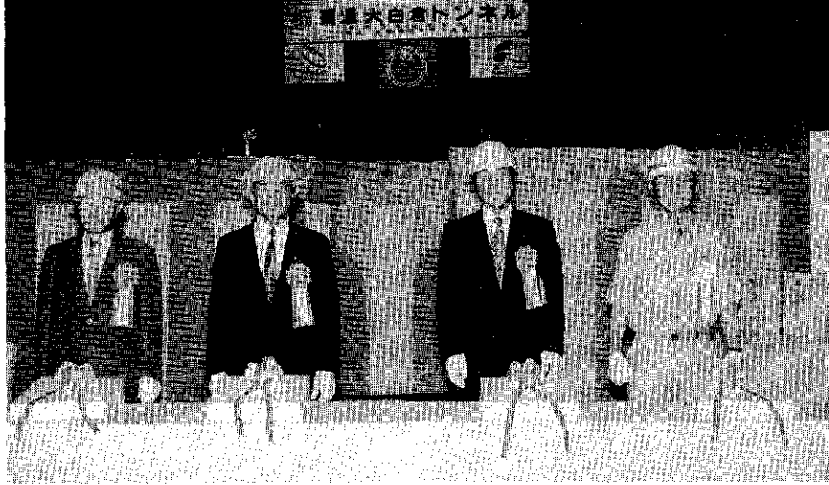
（敬称略・議席順・一町内二職
業三当選回数四抱負）

仮称『大白倉トンネル』貫通式

八月三十日、国道四〇三号仮称「大白倉トンネル」貫通式が、同トンネル坑内で実施されました。式には、工事関係者およそ六十人が出席。まず、貫通掘削の秒読みが開始され、上村県議会議員、近藤県道路建設課長、皆川十日町土木事務所長、南雲町長によって貫通掘削開始スイッチが押されました。貫通点検確認がされたあと、貫通点で大

倉側と白倉側の来賓が互いに握手・通り抜けや樽神楽通り抜けをして、最後に一堂が鐘開きをして貫通を祝いました。
国道四〇三号（起点中蒲原郡亀田町・終点東頸城郡安塚町）は、長岡圏域と上越圏域を結ぶ重要路線です。しかし、同線の川西町地内においては、小曲線の線形で視距が悪く、幅員も大半が一車線と狭く、雪崩の発生

があるなど、冬期間の除雪にも難渋している状況にありました。そのため、昭和六十一年度から道路改良工事に着手。大白倉トンネルは、昭和六十二年度から着手されたもので、延長八百六十メートル、幅員八・五メートル、工事費約十二億円を投入。このトンネルを含む大倉・大白倉間の工事は平成八年度完成予定となっております。供用が待たれるところです。

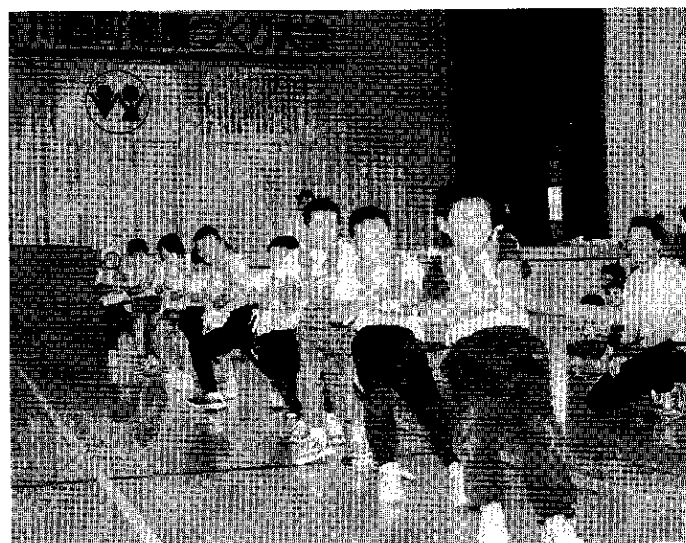


南雲町長（左）ら4人によって貫通掘削開始スイッチが押されました



大倉側・白倉側の来賓がお互いに貫通点で握手・万才をして貫通を喜びあいました

健康づくり大会



小学校低学年の部で優勝したモクラサブロー

8月29日、総合体育館を会場に、第6回健康づくり大会が開かれました。当日は、第6回町民つな引き大会、第5回健康づくりゲートボール大会、介護用品の展示や体脂肪測定計による測定コーナーなども設けられました。

▶一般の部で優勝した白倉オールマイティーズ



☆☆世界に開こう目と心

海外に学ぶ

多くの町民の方から海外の事情を自分の目で確かめ、諸外国の伝統や文化、民情に接することによって、外国人に対しても広く目と心を開いてもらう。そして、新しい時代への対応に心掛けてもらいたい、このようなことから、町では平成元年度から「海外研修補助制度」に取り組んでいます。平成四年度にこの制度で海外研修に出掛けられた方は十九人おります。

八月十八日、その体験を発表する「海外体験発表会」が開かれ、四人の方が発表しました。まず最初は、渡貫一芳さん(新町新田・32)が、アメリカ・ノースカロライナ州チャペルヒルで自閉症療育プログラム研修(国際治療教育研究所主催)に参加したことについて発表。ここでは、TEACCHシステム(自閉症児及び関連障害児の教育・

治療システム)が確立されており、自閉症者であっても社会の一員として地域社会の中で生活している。そのシステムの実習を通じて、感想をスライドを用いながら発表しました。

次に、柳麻希さん(高原田・19)は、ホームステイでニュージーランドへ。日本と違ったものをいくつか挙げて感想を語りました。ニュージーランドは想像よりはるかに良い国で、過ごしやすかった。また、いろいろのことも吸収できた。この経験を次のステップで生かしたいと結んでいました。

最後に、平野綱一さん(学校町・61)は、歴史の古い中国へ書画などの視察に訪れた。広い国土と増え続ける人口、特に人口は一夫婦一人っ子政策を打ち立て、違反者には罰則もあるとか……。およそ五千年という歴史を持つ中国では、建造物にはとにかく驚かされた。そして、中国での優れた書画・工芸美術品などから見る感性、手先の器用さ、根気強さを感じた。歴史・伝統の重みを感じざるを得ないと感想を語っていました。

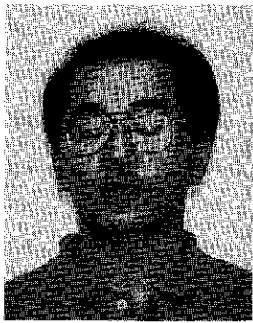
などを視察・研修しました。二カ国を視察した感想を述べたあと、井の中の蛙にならないで、これからもチャンスを生かしていきたい。また、現実を避けて通る視野を広げることができたと語っていました。



滋野さん

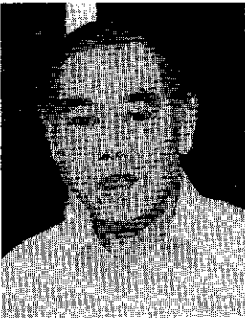


柳さん



渡貫さん

続いて、滋野豊子さん(野口・54)は、県内社会福祉施設職員などを対象にした先進諸国の福祉状況を視察・研修する「福祉の翼」でオーストラリア・ニュージーランドで障害者福祉施設



平野さん

第6回 町民つな引き大会 結果

〔小学校低学年の部〕

- 1位 モクラクサブロー(橘小)
- 2位 わんぱく大将(橘小)
- 3位 いーわい(千手小)

〔小学校高学年の部〕

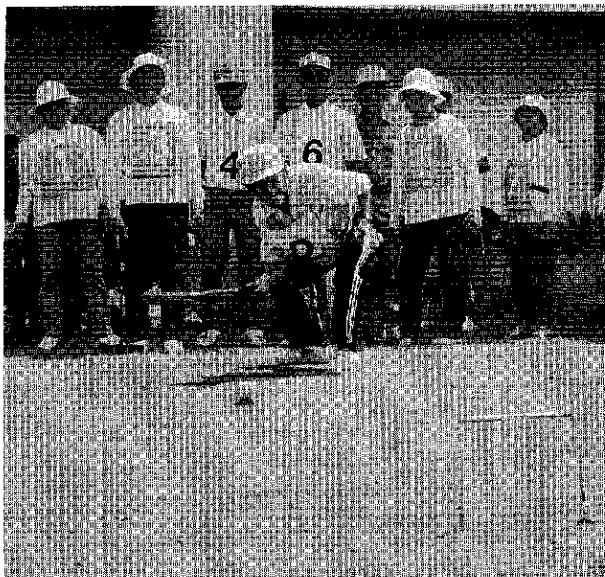
- 1位 モクラクジロー(橘小)
- 2位 仁田ジュニア(橘小)

〔一般の部〕

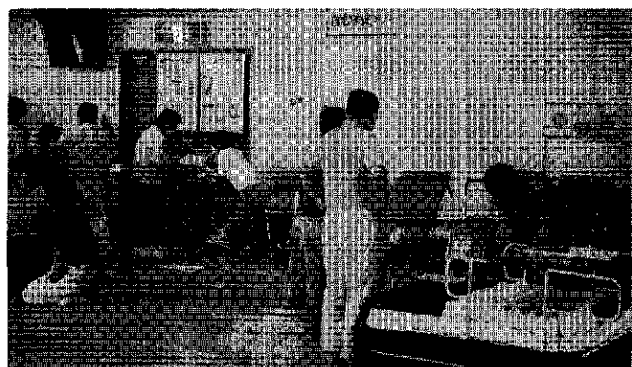
- 1位 白倉オールマイティーズ
- 2位 川西フェニックス
- 3位 モクラク
- 3位 メッツ

第5回健康づくりゲートボール大会結果

- | | |
|----|--------|
| 1位 | 山之根長寿会 |
| 2位 | 小白倉白鷺会 |
| 3位 | 岩瀬亀楽会 |



一打に集中してゆくえを見つめます



介護用品や測定コーナーにも多くの人が訪れました

町の話題あれこれ



まずは第1ゲートを通過させることに集中して

26チームで熱戦 岩瀬亀楽会が優勝

八月十一日、庚塚運動場で、第十八回町ゲートボール大会が開かれました。

この大会には二十六チームが参加。まず、六ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの一位六チームが決勝トーナメント戦に臨みました。予選も決勝も、どの試合も白熱しており、一打を打つことに監督の指示や、大きな声援が飛んでいました。結果は次のとおりです。

優勝 岩瀬亀楽会
二位 赤谷睦会A
三位 三分団千寿会B
三位 山ノ根A



楽しいゲームなどでみんなが楽しめました

「みどりの学校」で自然に親しむ

八月二十二日、ナカゴグリーンパークで、「みどりの学校」が開かれました。

これは、町と小千谷林業事務所が企画し、PTAから協力いただいたもので、今年で三回目。自然に親しむ機会の少ない児童とその保護者を対象にして、自然の中での学習観察とレクリエーションの機会を与えようということがねらいです。

この「学校」には、町内小学校四年生児童と父兄ら二百四十人ほどが参加。〇×クイズで森林についていろいろ理解を深めたあと、豚汁づくりやゲームなどをして、残り少なくなった夏休みの一口を、自然の中で楽しく過ごしました。

夏季における 交通事故防止を図る

八月一日から十日までの十日間、全国一斉に夏の交通事故防止運動が実施されました。

町でも期間中、信号機のある交差点・通学などで混み合う場所などを重点に街頭における指導活動や、交通指導車による巡回活動、交通安全指導所設置などが実施されました。

八月十日、国道二五二号沿線松葉沢パーキングで、警察官・交通指導員・安全協会の役員ら十五人が出て、運転者に安全運転のチラシなどの配布や口頭での交通安全の励行、シートベルト、ヘルメットの正しい着用について呼び掛けていました。



チラシの配布や口頭で、交通安全の励行などを呼び掛けていました

カントリー倶楽部作戦を実施

八月一日、国道二五二号沿線を活動場所に、仙田児童カントリー（缶取り）倶楽部作戦が実施されました。

これは、町・町交通安全協会・（町）十日町地区交通安全協会・十日町警察署の主催で実施されたもので、仙田地域を縦断する国道二五二号沿線を巡回して、ドライバーらが捨てたタバコの吸い殻、空き缶などを回収して、国道のクリーンアップと交通マナーを身につけようというものです。

当日は、仙田小学校（大島紘一校長・児童数57人）の五・六年生二十人がこの活動に取り組み、仙田地域の美観促進と交通安全などを呼び掛けました。



国道252号沿線を巡回して、空き缶などを集める児童

生涯学習の町づくりを進める

八月二十二日、総合センターで、第三回町生涯学習推進大会が開かれました。

まず、ふるさと料理教室に参加した高橋アサさん（室島・60）、木落地区高齢者学級に参加した丸山孫太郎さん（木落・77）、英会話教室講師の新保サリィさん（四郎兼・33）の三人による学習体験発表がありました。高橋さんは教室での今後の決意を披露。丸山さんは、生涯学習への期待を、新保さん町民の温かさについて語っていました。

このあと、参加者は「住民による地域づくり活動」と題して、高柳町社会教育委員の村田澄雄さんの記念講演を聞き、生涯学習に対する意欲を新たにしていました。



およそ170人が参加した推進大会

青年会が手づくりの劇を披露

八月二十六日、上野諏訪神社境内で、パッチやベイゴマなど昔の遊びを、また、二十七日には上野小学校体育館で、ザ・しちんちまつりと銘打った催しがありました。

これらは、いずれも上野青年会（古沢裕会長）が諏訪まつりを盛り上げようと企画した事業です。

二十七日のザ・しちんちまつりでは、ゲームや地区住民の民謡などが披露されたあと、脚本・演出などすべて青年会による手づくり劇を披露。常にNHKの先をいく」と口上が述べられ、シリーズ第四作になる「節黒城風雲録・黎明篇」を上演。会場は感心や笑いの声でいっぱいでした。



名優ぞろいの青年会です

ひまわり 星名邸の町

「星名邸」に 全国から集まる

八月二十八日から三十日まで「全国重文民家の集い」が開かれました。二十八日、当町・上野の星名邸（星名邸邸さん所有）に、この一行五十人ほどが見学に訪れました。

この催しは、全国にある重要文化財（建造物）の所有者・関係者で組織をしているもので、星名邸（平成二年五月指定）も仲間入りをしています。今年は新潟県が当番に当たったことから、県内の豪農の館を中心に、見学するコースの一つに星名邸も含まれました。「重文星名邸のある川西町」を紹介する項目が一つ増えそうです。



星名さんから説明を受ける参加者

機敏な動作 町消防団秋季演習

八月二十九日、橘小学校グラウンドで、町消防団秋季消防演習があり、消防団員三百二人、消防車一台、積載車十一台が集合しました。

人員・姿勢・服装の点検に始まり、機械器具の点検、分裂行進、仮想放水演習などが実施されました。特に人員・姿勢・服装の点検は、各分団ごとに点検しました。

また、仮想放水演習では、本番さながらに、団員が機敏な動作で対応していました。

住民一人ひとりが注意や自覚をして、火災のない町にしていきたいものです。



号令一つで機敏に動くことが基本です

校 結果

8月2日
上野小学校プール
*は大会新記録

【女 子】

5年200メートルメドレーR

- ①千手(清水美香、丸山梨恵子、清水望、高橋あすか)
 - ②橘(木村梨恵、羽鳥愛子、田中裕子、五十嵐園恵)
 - ③上野(田畑結香、金子歩美、根津迪子、水落まどか)
- 6年同
- ①橘(池竹祐子、大久保麻紀、田中美奈子、野沢佳代)
 - ②仙田(小林美喜、小林美奈子、片桐清香、金子早苗)
 - ③千手A(高橋美香、小海もも子、春日あゆみ、平野理恵)
- 6年100メートル自由形

- ①片桐清香(仙田)②野沢佳代(橘)③金子早苗(仙田)
- 5年100メートル平泳ぎ

- *①清水望(千手)②丸山梨恵子(同)③羽鳥愛子(橘)
- 6年同

- ①池竹祐子(橘)②清水孝子(千手)③高橋理恵(上野)
- 5年100メートル個人メドレー

- ①根津迪子(上野)②田中裕子(橘)③水落まどか(上野)
- 6年同

- ①田中美奈子(橘)②小林美喜(仙田)③春日あゆみ(千手)
- 5年25メートルバタフライ

- ①根津迪子(上野)②田中裕子(橘)③高橋あすか(千手)
- 6年同

- ①田中恵梨香(白倉)②春日あゆみ(千手)③井上冴子(同)
- 5年50メートル自由形

- ①木村梨恵(橘)②五十嵐園恵(同)③高橋愛(同)
- 6年同

- ①野沢佳代(橘)②片桐清香(仙田)③金子早苗(同)

5年50メートル平泳ぎ

- ①清水望(千手)②丸山梨恵子(同)③小林加代子(仙田)
- 6年同

- ①池竹祐子(橘)②清水孝子(千手)③高橋理恵(上野)
- 5年50メートル背泳ぎ

- ①金子司(上野)②清水美香(千手)③高橋恵(仙田)
- 6年同

- ①小林美香(仙田)②村山祐子(上野)③上村紘子(同)
- 5年50メートルバタフライ

- ①高橋あすか
- 6年同

- ①田中美奈子(橘)②井上冴子(千手)
- 5年200メートルR

- ①橘(五十嵐園恵、木村梨恵、羽鳥愛子、田中裕子)

- ②上野(小川千香、金子司、水落まどか、根津迪子)

- ③千手(丸山梨恵子、高橋あすか、清水美香、清水望)
- 6年同

- ①仙田(小林美喜、小林加代子、金子早苗、片桐清香)

- ②橘(野沢佳代、大久保麻紀、池竹祐子、田中美奈子)

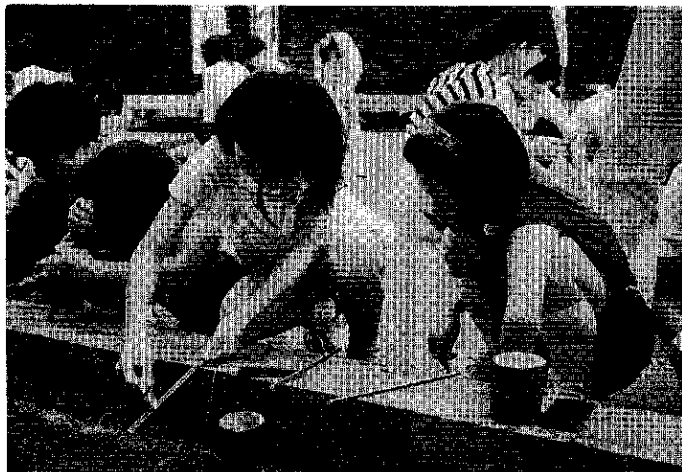
- ③千手A(高橋美香、高橋智美、春日あゆみ、平野理恵)



5年女子平泳ぎ

自然こそ教師 仙田郷子ども村開設

なれないはしづくりから挑戦します



八月十八日から二十三日までの六日間、仙田地区で仙田郷子ども村が開設されました。これは、町山村留学実行委員会(高橋幸一会長)が主体になって進めているもので、今年で四回目。都会の児童と交流を深め、自然の中での自立生活や、農家での生活体験をすることなどを主なねらいとしています。

今回は県(町)外から四十二人、仙田小学校から十一人、計五十三人が参加しました。そのうち、県外の参加者の中には三回目という児童が二人、二回目という児童が十三人いました。

初めて参加した人、継続して参加した人「参加してよかった」という感想が多く聞けました。



6年女子個人メドレー

第23回 町内小学 親善水泳大会

【男 子】

5年200メートルメドレーR

- ①橘(石黒健太郎、高橋拓也、岩坂英二、羽鳥孝洋)
- ②仙田(庭野哲、樋口和也、登坂匠、小林大昌)
- ③千手(根津英和、北村弘行、嶋原大介、小林健)

6年同

- ①千手A(吉楽拓哉、南雲基延、丸山英明、高橋俊博)
- ②橘(藤原弘生、水落信行、木村健吾、今井拓朗)
- ③千手B(田中邦宜、鈴木健、松崎正、柄沢健太)

5年100メートル自由形

- ①羽鳥孝洋(橘)②須藤雄一(同)③小林大昌(仙田)

6年同

- ①高橋俊博(千手)②登坂幸雄(仙田)③丸山一樹(上野)

5年100メートル平泳ぎ

- ①高橋拓也(橘)②星名太一(同)③北村弘行(千手)

6年同

- ①南雲基延(千手)②水落信行(橘)③原秀和(同)

5年100メートル個人メドレー

- ①嶋原大介(千手)②羽鳥孝洋(橘)③岩坂英二(同)

6年同

- ①丸山英明(千手)②藤原弘生(橘)③片桐武彦(上野)

5年25メートルバタフライ

- ①登坂匠(仙田)②渡貫正嗣(上野)③岩坂英二(橘)

6年同

- ①松崎正(千手)②大海真彦(同)高橋涉(仙田)

5年50メートル自由形

- ①大久保峻(橘)②樋口和也(仙田)③庭野哲(同)

6年同

- ①高橋俊博(千手)②高橋涉(仙田)③小林昭雄(千手)

5年50メートル平泳ぎ

- ①秦野克也(橘)②樋口和也(仙田)③和久井公太(橘)

6年同

- ①南雲基延(千手)②水落信行(橘)③山家正史(同)

5年50メートル背泳ぎ

- ①石黒健太郎(橘)②高橋和則(上野)③根津英和(千手)

6年同

- ①田中邦宜(千手)②登坂幸雄(仙田)③藤原弘生(橘)

5年50メートルバタフライ

- ①嶋原大介(千手)②登坂匠(仙田)

6年同

- ①丸山英明(千手)②松崎正(同)③木村健吾(橘)

5年200メートルR

- ①橘(岩坂英二、須藤雄一、大久保峻、羽鳥孝洋)

- ②仙田(庭野哲、樋口和也、小林大昌、登坂匠)

- ③千手(嶋原大介、小林健、北村弘行、根津英和)

6年同

- ①千手A(南雲基延、松崎正、丸山英明、高橋俊博)

- ②仙田(高橋涉、半田太、木村亮介、登坂幸雄)

- ③橘(藤原弘生、木村健吾、山家隆二、今井拓朗)

秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(火)～9月30日(木)

夜の道

わが身を守る

明るい服装



仙田村の学校問題⑬

岩瀬 金子 幸 作

田戸を離れた越ヶ沢

川崎保一氏(厚木市・越ヶ沢出身)の手紙を紹介する。

広報かわにしの「歴史は語る」を興味深く読んでいます。仙田村の学校問題⑨の青木正善君とは同級生ですし、⑩の高橋鉄栄、樋口弘二君とは友人で今も交際が続いています。両君とも普通の学校生活を送られたとばかり思っていましたので、広報を読み、上野校や仙田校への転入学を知って驚きました。

離れました。大正十三年の二期から仙田校に通うことになった田戸に憎まれ、ミゾが深まったようですが、私たち子どもはそのへんの事情を何も知らず、仙田校に終始通学できたのはありがたいことでした。

犬が統合に拍車か

田戸校に通っていたとき、上野の富屋の自動車走るとめずらしくて、郵便局の前に止まっていた車を取り囲みました。ガソリンの匂いをかき、走り出すと後部の予備タイヤにつかまって隠宅の下まで乗り、飛び降りましたが、運転手は気がつかず事故もおきませんでした。

越ヶ沢区は、「オラほうに来てくれ」という中仙田有志の熱心な懇請を受け容れて田戸校区を

冬になると越ヶ沢に雪中校が開校して三年生までが学び、五・六年は冬期は上田戸の雪道を田戸の本校に通いました。旦那様の家にライオンみたいな毛の長い猛犬が二匹おり、鎖も無く放し飼いで、登下校時に前を通ると雨具にかぶりつき、恐ろしくて勉強どころではありませんでした。大きい子が先になり、小さい子はその後を走って逃げ

た、あの恐怖は今なお忘れられません。こんな児童の悩みを知った親たちに、田戸を離れる決意をさせた一面があったかも知れません。今の世であれば父兄が黙っていないでしょうに、相手が押木様であってみれば文句も言えない時代でした。

足が速者なわけ

仙田校は時計のある新しい校舎で、高等科も併置され、私が田戸から転校した年は室島・赤谷・岩瀬・大倉の子も通学していました。校長先生が高等科一・二年を受持ち、五・六年は複式で、田戸校で学んだ五年生の歴史と地理を仙田校へ行ってもういちど習いました。高等科の生徒が越ヶ沢の子をめずらしがって、悪ふざけするのがオツカナクテ苦勞しました。

私はいま八十一才ですが、市内のスーパ―へ徒歩で元気に通勤しています。子ども時代に峠の頂上から田戸校や中仙田校へ通ったお陰で、足や腰が丈夫になったものと感謝しています。

一時的に休戦の動き

高等科の併置と仙田・中仙田・赤谷の三校統合をめぐってもめ続けた仙田村は、登坂九十二が辞職したあとだれも村長にな

り手がなくて、その残任期間を小杉藤太郎が職務管理し、小林銀次郎が村長臨時代理を勤める不面目な事態を経験した。

当時の仙田村は、よそ者でなければ、村治できない不甲斐のなさを返上したい気持ちと、毎年の争いに疲れが出てきたことから、一時的であるにせよ平和な村を願う村民が多くなって各校に休戦の気運がめばえていた。こうした、村内の空気を察知した村会は、後任の村長を三校統合に中立的な校区からという方針で慎重に人選し、昭和三年三月に、小白倉の田中信一が「在任中に学校問題で争わない」ことを条件に村長を引き受ける。

現状維持で小休止

田中村長は、各校区の代表に統合と高等科併置を諮問し、その答申を議会で協議して次の二点について合意が成立した。

①平場の千手・中野や上野・橋村を見ると、仙田村と同距離の地域に四つの小学校が建っている。仙田村は里よりもっと立地条件が悪く、四つの本校には分校や雪中校があつて通学も至難であるゆえ、平場各校の間隔を見習って仙田・中仙田・赤谷・白倉校を編持する。

②高等科の併置は、各校区と

も当分の間誘致運動をしない。現状維持を願う村民の声は日を追って大きくなり、村会もこれに同意して三校統合は一時的に保留の形となり、高等科問題も休戦して村にはつかのまの平和がよみがえった。

締めて働け心の樫

田中信一の任期(四年)が満了すると、後任村長の白羽の矢は岩瀬の上ミに向けられ、かねて呼び声の高かった登坂謙三が昭和七年四月から村長に就任、在職中に、再燃した統合問題に対処するかたわら「経済更正」を推進して村財政の再建をはかる。後任村長の増田準次もこの政策を継承し、「締めて働け心の樫(仙田村が募集した一位入選標語、中條秀雄作)」を合意ことばに経済更正の五カ年計画を推進する。

田中信一、登坂謙三、増田準次村長時代の仙田村は、全国的に農村不況の波が押し寄せる中で村財政がひっ迫し、教員給料の支払いが滞りがちになった。こうした村を救済する目的で「市町村立小学校臨時国庫補助金法」が制定公布(昭和七年九月)され、教員給料の未払分を解消するための補助金が交付されたが焼け石に水の額であった。

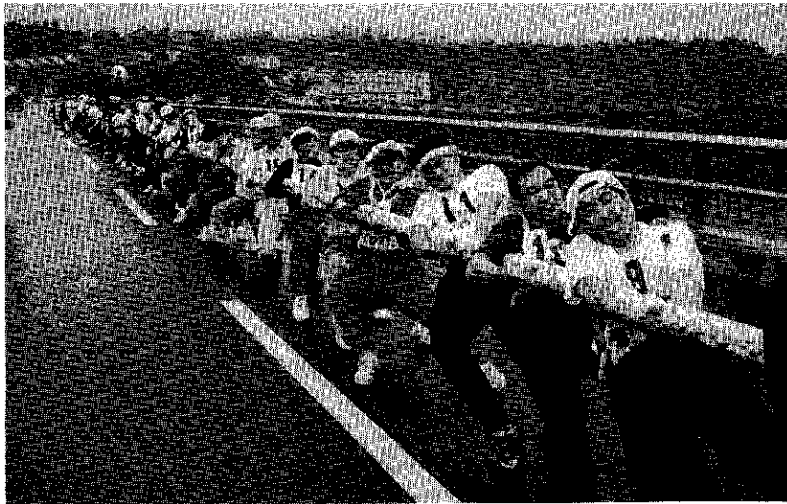


昭和戦後の越ヶ沢冬季分校
(岩瀬・中条秀雄さん提供)

妻有の里が大好き

大 好 き 夏 ま つ り

十日町を圧倒した川西勢



八月一日、妻有大橋周辺特設会場で、「大好き夏まつり（大好き夏まつり実行委員会（十日町市・川西町で各部会を構成）主催）」と銘打った催しが開催されました。

この催しは、「肥えた大地を作り出した大河信濃川」「大事な友となりつつある雪」「長い歴史を受け継ぐ織物」「日本の優良米産地」「人情豊かな人間性」など、かけがえのない数

多くの私たちの地域にある財産を自らも誇り、広く全国に紹介しようということで去年に引き続き開催されたもの。

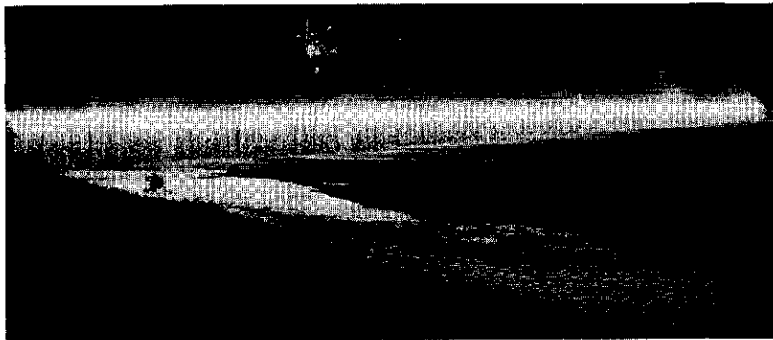
今年は魚のつかみ取り、手作りいかだコンテスト、仮装人間ばん馬、両市町対抗戦の百五十人による大綱引き大会、フィナーレを飾る妻有大橋（全長三九九・二メートル）のナイヤガラ花火など、盛り沢山の催しものがあり、大勢の人が楽しみました。

ちなみに、対抗戦で実施され

た、両市町七十五人ずつによる大綱引き大会では、二対一で川西町が勝利を収めました。



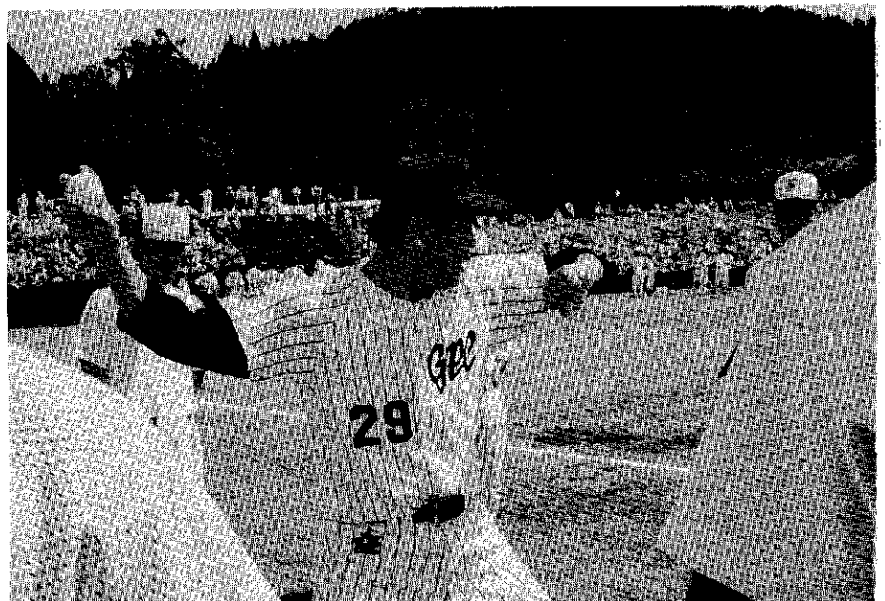
人間ばんばのパフォーマンス



妻有大橋399mにしかけられたナイヤガラ

名球会がやってきた!

八月二十九日、十日町市笹山野球場・陸上競技場で宝くじスポーツフェアが実施されました。これは、青少年の健全育成と長寿社会に対応した明るいまちづくりに貢献することを目的として、日本プロ野球名球会のメンバーによる野球教室・親善試合などを実施し、事業を通じて宝くじの普及広報をするものです。今回は、新潟県・十日町市・



村田兆治投手から指導を受ける参加者

川西町・津南町・中里村・松代町・松之山町が一緒になってこの事業に取り組みました。

町からは、少年野球の指導者選手ら三十八人がこれに参加し、名球会のメンバーから、約二時間わたって指導を受けました。

当日はおよそ七千人が会場につめかけ、親善試合では、選抜チームと名球会のメンバーが対決。往年の名選手にスタンドから盛んに声援が飛んでいました。

図書室 だより

写真と紀行文新刊案内

○鳥に会う旅

世界文化社 叶内拓哉
「気がついたらこうして鳥と
かわって暮らしていた。」と
著者が述べているとおり、とに
かく子供のころから理屈ぬきで
鳥が好きでたまらなかった。

北海道から沖縄まで年中鳥を
求めての旅暮らし。野鳥を追っ
かけて写真を撮り続けているの
だ。写真が実に見事だ。一枚一
枚の写真にそれぞれ野鳥の表情
が生きてとらえられている。
野鳥観察に関心のある方はも
ちろん、すぐれた野鳥の写真集

としても魅力にあふれている。
○ブナ林からの贈りもの

写真 石橋睦美 文 能谷樫

日本の有名なブナ林を十カ所
ほど紹介している。春夏秋冬と

四季の変化に伴うブナ林の風景
写真は見事だ。新緑のすばらし
さはもちろんのこと、夏の深い

緑を渡る風、多くの木々が共存
するブナ林の秋の彩りの豊かさ、

葉を落とした後さびのきいた森
吹雪舞う冬の森……。森が作り

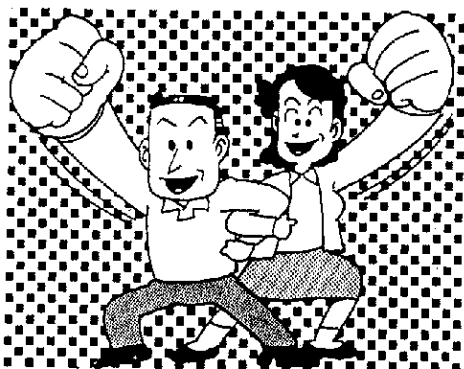
出す折々の表情に心引かれる。
「厳しい自然に耐える生命力の

強さを見せつけられると、もの
の見方から人生観にまで影響を

与える。」と著者は語る。
「われわれが呼吸している地球

上の酸素はすべて植物が作った
ものだ。」ブナ林を守る運動は、

同時に今後の人類の生存にかか
わる運動だという。



9月はガン征圧月間



かわい
い
俳壇

太田白南風選

箴に盛る新緑の紅鮮やかに

山野田 藤田ひろ志

丁寧な畝を作りて大根蒔く

大倉 中条 石平

滝飛沫霧となりたる動きかな

霜条 星名 星光

ホカホカの新緑を先づ仏前へ

上野 内山 寛平

紫蘇の実の香り残りし指先に

野口 村越 由喜

山寺の静かに暮るる蟬時雨

足立区 涌井ハル子

甲州をめぐる山々葡萄棚

原田 太平 きみ

短かめに髪の手入や夏仕度

元町 上村 トミ

心太を水に涼呼ぶ休息所

伊勢原市 金子 桂吉

低温のままに秋立つ稲穂かな

高倉 斎木 和人

おぼつかぬ手付きもまじる盆踊り

志木市 山田十久二

分け入りて山百合一枝大山路

綾瀬市 野沢ますえ

ひまわりの大きな花のゆれており

野口 村越 春野

風鈴の音色涼しき夜店かな

小白倉 田中 優美

高速路望郷さそう盆の月

足立区 駒形 頼太

豊作を祝う太鼓や諏訪の森

野口 五十嵐トラ

すごし良き風にさそれれ昼寝かな

仁田 羽鳥 美穂

靴底にどんぐり踏みし夜の道

小白倉 江口みゆき

職退きて悔なき青き踏みにけり

元町 金子 鉄平

北里の噴水涼し夏の日に

厚木市 川崎 保一

ばんやすみ夜空にひらく火花かな

仙田小三郎 高橋 隼

山百合の土に匂ひをこぼしけり

新町 若山 向山

盆おどり古里の音伝えつぎ

浦和市 登坂 博史

ひろびろと稲穂の揃ふ秋祭り

木落 丸山 詩朗

芋の茎太り昨日も今日も雨

中仙田 高野仙蒼子

爽やかに台風一過晴れわたり

岩瀬 登坂伊智子

盆も過ぎ低温のまま夏は逝く

野口 野沢 静江

露草や朝つゆ待てる小さき花

千手 長野 キミ

戦友会夜長の軍歌つづきあり

下平新田 清水きよし

祭獅子若衆塩なめ走りけり

水口沢 高橋 順似

浴衣着てお墓詣りの孫二人

野口 村越 幸

秋草にささやく風のさびしけれ

練馬区 須藤 遊人

暑き日のかぞふる程なく秋の風

上野 入沢 はや

みんなの声たまさかに森小路

八王子市 松浦 サク

乳母車押しつ稲田の雀追う

寺尾 白井すみい

戸を開けて夏の八海絵の如く

仁田 戸田 貞

サンガラス外しまともの顔となる

霜条 大海 白涛



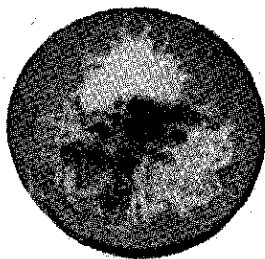
愛犬家は 注意して！

私は、晴れた日はもちろんのこと、よほど大雨でもなければ、毎日朝晩必ず犬を散歩に連れて出ます。そして、割りばしとビニール袋を手放さず、自分の家

の犬のふんは、道端に一つも置いておくことはありません。それなのに、道端や他人の畑、学校の芝の上などにたくさんふんがあるのはどうしてでしょう。他人様の土地に自分の犬のふん尿を平気でやらせ、晒し放しにしている人がいるからです。

自分も犬が好きで飼っている一人として、本心に腹立たしく、恥ずかしい行為だと思ふ。だから、声を大きく叫びたい、「自分の犬のふんの始末ができない人は、飼う資格のない人です。」
(町の愛犬家の一人より)

生盛りなます



■ 材 料

- ・大根 500 g
- ・干しいたけ 5 枚
- ・油揚げ 2 枚
- ・かいわれ 1/2 パック

■ 調味料 (かけ汁)

- ・だし汁 300 cc
- ・醤油 80 cc
- ・ごま 100 g
- ・辛子 少々
- ・化学調味料 少々

■ 調理方法

- ①大根、干しいたけ、油揚げは千切りにする。
- ②油揚げ、もどしたいたけは別々にゆでる。
- ③ごまを良くすり、だし汁 (かつおぶし)、醤油、辛子、化学調味料を入れる。
- ④材料が立つように器に盛り、かけ汁を器の横から注ぐように入れる。

手軽にできる人気の味①

特別養護老人ホームの名称決まる

8月24日に締め切った特別養護老人ホームの名称募集に、32点の応募がありました。9月3日に審査会が実施され、寺口由美さん (六日町) の作品が入賞。星名きくさん (霜条) ほか2人の作品が佳作と決まりました。

特別養護老人ホームの名称は

『あかね園』です。

目白押し

言葉の履歴書

小さい鳥で、目の周囲に白い輪があるのが特徴。名称もここからきています。晩秋には低地の林にきて、枝の上に押し合うように並んでとまるので、「目白押し」という言葉が生まれました。

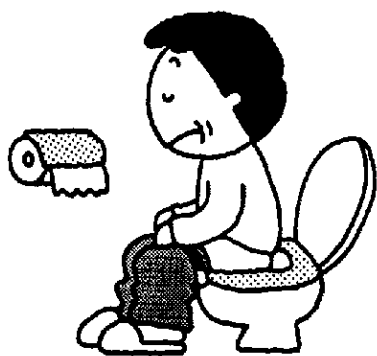
「目白押しに並ぶ」といえば、大勢の人が先を争って、押し合いながら横一列に並ぶこと。この「目白押し」は、小鳥のメジロが木にとまるときの習性から生まれた表現です。

メジロはスズメより

「目白押し」は、戸外遊戯の一つでもあります。塀などを背にして一列に並んだ子供たちが、両端から押し合い、中央の子が左右から押し出されてふたたび端に加わる遊びです。

「押しくらまんじゅう、押されて泣くな」と唱えるのも同じで、これは箱に入ったまんじゅうがぎゅっしり詰まったさまを連想したものでしょう。

また、「押し潰け沢庵、押されて泣くな」は、腹ばいになった子の上に大勢が次々に折り重なって、沢庵石のように押しつける遊びでした。昔は児童の遊戯にも、生活実感が伴っていたことが分かります。



大腸がんは、食生活の欧風化などに伴い近年着実に増加してきました。大腸がんによる死亡率は、この三十年間で四倍にも増え、西暦二〇〇〇年には、女性のがん死亡中の第一位、男性で第三位を占めることになる」と予測されています。

大腸がんの原因として、食生活との関係が考えられていますから、その予防法としても動物性脂肪の取り過ぎを避け、食物繊維を十分に取ることが勧められています。しかし、最も確実な予防法は早期発見・早期治療であるといえます。血便や肛門出血などは重要な大腸がんの症状

大腸がん検診で便潜血検査が陽性となった場合、専門の医療機関で大腸内視鏡 (ファイバースコープ) 検査や注腸X線検査 (腸にバリウムを注入してレントゲン撮影をする検査) を実施します。でも、早期のうちになんが発見されれば、ほぼ九割の人が助かります。ぜひ、検診を活用してください。

大腸深部のがんでは、目で見てわかるような血便は認められないことも多いので、便の潜血をチェックする大腸がん検診が必要となります。

厚生省では、平成四年度から全国の市町村を実施主体として、老人保健事業の新しい検診項目として大腸がん検診を導入することになり、町でも今年十月から開始することになりました。

早期発見・早期治療が大切

受けよう大腸がん検診

くしけんこ

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

星名 太一 正明 江長男 沖立

片桐 藍米 幸二 女 發電所通東

小林 彩夏 義文 長女 山野田

田中 竜太 恵子 長男 仁田

井口 史穂 芳之 長女 山野田
増田 祐也 敬子 二男 室島

たかさご—ご円満に

古沢 実 上野
藤田 みゆき 根 深から

昇天—ごめい福を祈る

佐藤 トク 76(幹夫) 小脇

(8月1日—31日届け出分)

ススキ

秋の七草をご存じですか。指を折って数えてみてください。

万葉集の歌人、山上憶良が「秋の野に 咲きたる花を および 折りかきかぞふれば 七種の花」として挙げたのは、萩、尾花(ススキ)、葛、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、朝顔(キキョウ)の七種類。なかでも、ススキは秋の風物詩です。ススキの穂が風にそよぎ始めると、暑さからも開放され、ほっとした気分になります。また、ススキの白い綿毛は、晩秋の風情にぴったります。

お月見の供え物とともにススキを飾る風習が各地にあるのは、



ススキが日本全国に分布しているからだといわれています。そしてススキは、昔から日本人の暮らしにとって、屋根葺きの材料として、肥料や家畜の飼料、炭俵やすだれの材料として、身近な植物でした。

しかし現在では、目の前にあっても見向きもされず、親しむことが少なくなりました。中秋の名月と一緒に、今年はススキも眺めてみてはいかがでしょうか。

ちいさな展覧会

62

—(上野小学校)—



1年 くらしなまやさん



6年 押木美穂子さん



4年 中嶋 圭君



1年 さいとつじゅんき君



6年 上村智恵さん



4年 清水恵子さん



6年 水品早絵さん